

近鉄大阪線二上駅北側駅前広場再整備計画

1 現況

駅の南北にそれぞれ南側駅前広場及び北側駅前広場が整備されているが、かつて自転車駐車場であった部分の一部に交番が設置されたほかは、公共施設や商業施設もないままで発展が見られない。また、駅西側に位置し、通学路にも指定されている関屋第5号踏切は、交通量が多いにもかかわらず狭隘で危険である。

一方で、二上駅は急行電車が停車しない奈良県内の駅の中で最も乗降客数が多くなり、周辺の歩行者等も多く、令和6年1月に実施した「二上エキマエマルシェ」では大変なにぎわいが見られた。

現況航空写真



二上エキマエマルシェ



2 整備イメージ

歩行者が利用できる飲食スペースや子どもたちの遊び場を整備し、マルシェや地場産品物産展を開催してにぎわいを創出し、周辺地域の活性化を図る。

また、設置する街灯のデザイン等を工夫するなど、良好な景観を形成していく。



3 令和7年度事業費等の見込み

(1) 事業費 9, 480万円

内訳：人工芝、複合遊具、照明、ベンチ、車止め等

(2) 財源

内訳：地方債及び一般財源

※ 地方債は、こども・子育て支援事業債を活用する。

(充当率90%、交付税措置率50%)

4 令和7年度事業の概要

北側駅前広場のうち、交番を挟んで南北の部分の一部を芝生化し、複合遊具等を設置して、子どものための遊び場を整備する。また、子育て世代を中心として様々な世代が集うことのできる憩いの空間とし、同駅の日常的な利用者だけでなく、市内外からも人が集まる場とする。

5 今後の整備予定

現在、近畿日本鉄道株式会社との間で、関屋第5号踏切の拡幅に向けて継続して協議を重ねており、車道を拡幅した上で、更に歩道を設置していく。

また、踏切の拡幅に併せて、北側駅前広場のロータリー北側の歩道部分についても、交通量調査等の必要な検討を経て、ロータリーを縮小する等の工夫をした上で芝生化し、子どものための遊び場を拡大していく。